

総社市民の皆様へ（新型コロナへの対応について）

市内高齢者施設でのクラスター発生を受け、本日、地域関係者の皆様にお集まりいただき「新型コロナウイルス感染症発生に伴う地域関係者 緊急連絡会議」を開催し、お二人の専門家（岡山大学大学院教授・総社市感染症専門家会議メンバーの頼藤貴志先生、吉備医師会感染症対策委員会メンバーの薬師寺泰匡先生）から市民の皆様へメッセージをいただきましたのでお知らせします。

令和2年10月30日 総社市長 片岡聡一

（総社市新型コロナウイルス感染症対策室 TEL：0866-92-8259）

頼藤貴志 先生からのメッセージ

- ① 体調が悪かったら、仕事や学校を休みましょう！また、周りの方も休むことを理解する環境が大切です！
- ② マスクの着用、手指消毒の徹底、3密の回避などの基本的な感染対策を徹底しましょう。会食時も気を付けましょう！
- ③ 感染すると死亡率・重症化率の高い高齢者に、いかにうつさないようにするか、地域で考えましょう！
- ④ 接種可能な予防接種（肺炎球菌・インフルエンザ）は受けましょう！
- ⑤ 新型コロナウイルスは誰もが感染する可能性があります。誹謗中傷や人権侵害は絶対にしないで、みんなで乗り越えていく意識をもってください。
- ⑥ 子どもの感染について、医学的知見からの情報をお伝えします。
 - ・ 日本も世界でも、子どもは感染しにくい。
 - ・ 国の資料でも、19歳までは死亡しにくいし、重症化しにくい。
 - ・ 子どもは、周りの人に感染させにくい。
 - ・ 子どもは、地域の感染源にはなりにくい。
 - ・ 校内で感染者が発生したときには、濃厚接触者の把握のため休校や学級閉鎖などの措置が必要になることがあるかもしれないが、休校には教育機会の喪失や虐待リスクの増加など負の側面がある。

薬師寺泰匡 先生からのメッセージ

① 感染確率はゼロにはできません！

感染対策（手洗い、マスク、フィジカルディスタンス等）で、感染を減らすことはできますが、ゼロにはできません。

② 感染対策は無駄だったわけではありません！

これまでの取組は無駄ではなく、蔓延を防ぐことに一定の効果はあったはずです。

③ 感染対策が甘いからクラスターが発生したわけではありません！

どれだけ気をつけても感染するときはしますし、クラスターが発生するときは発生します。クラスター発生は決して失敗を意味しません。日本はクラスターを管理することで、諸外国のような蔓延を防いできました。

④ リスクは高い時ほど軽減効果があります！

感染者が身近にいるかもしれない今こそ、感染対策を行い、ハイリスクな環境を避け、自分の身を守る努力をしましょう。

⑤ 十分な感染対策をしていないと思われる人や感染者、周囲の人を責めないで！

感染予防策は、リスク軽減の役に立ちますが、全員に強制するほどの効果はないです。感染は不可抗力で、誰にでも起こり得ます。意図的に感染者が周囲にばらまくような行為以外は責められるべきではありません。

⑥ クラスターの拡大防止が最大の目標！

クラスターの周囲で症状がある人、濃厚接触者をしっかり健康観察することが重要です。吉備医師会は、保健所の健康観察の対象とならなかった人の健康管理も積極的に行い、必要時は診察を受けられるよう体制を構築しています。無症状で検査陰性の入居者は、積極的に市内医療機関で健康観察を行います。健康観察は一般的に感染可能期間内に患者と接触した最終日の翌日から2週間後までになります。

⑦ 一度クラスターが発生した場所はハイリスクとは一概には言えません！

より気をつける分、これまでよりも安全な場になると考えるのが普通です。感染の波が落ち着いた後は通常通り営業を再開している施設が大多数です。ただし、もともとクラスターが発生しやすい業態である点は認識しておかねばなりません。

⑧ この時期に発熱したとしてもコロナの可能性は低いです！

日々の診療ではコロナ以外の疾患が大多数を占め、コロナより危ない病気も多々あります。体調が悪くなったらお休みして、医療機関に相談することが重要です。

⑨ とにかく早く PCR 検査を受けなければならない訳ではありません！

無症状時に闇雲に検査しても拾い上げられず、感染拡大防止にはつながりません。疑いが強いなら検査結果によらず感染予防策をオススメすることもあります。

⑩ 吉備医師会・市・保健所が連携し、相談先、受診先を必ず設けます！

症状が悪化したときには市内・市外の病院で連携して、迅速に適切な治療に結びつけます。